

2011 年度 線形代数（工学部・土木工学科）期末試験 結果

担当：境 圭一

平均点は 67.0 点，最高点は 100 点でした．点数分布と各問題の平均点は以下のとおりです．

点数	～ 59	60～69	70～79	80～89	90～99	100
人数	19	2	9	8	7	1

問題	1 (15 点)	2 (15 点)	3 (30 点)	4 (40 点)
平均点	9.7	9.3	23.5	24.5

成績のつけ方は予告通りです．中間・期末試験の合計が 60 点に満たない場合，出席状況・レポート提出状況を加味した上で良好であれば「可」とします．

最終的な成績の分布は以下の通りです．

成績 (点数)	不可 (～59)	可 (60～69)	良 (70～79)	優 (80～89)	秀 (90～)
人数 (割合)	4 (9%)	27 (59%)	7 (15%)	7 (15%)	1 (2%)

お知らせしていた通り，答案の返却はしませんが，メ - ルでの期末試験の点数の問い合わせに応じます．

予想よりも前半の出来が悪く，後半の出来が良かったようです．連立一次方程式に関して復習しておいてほしいと思います．もったいないと感じた間違いは，計算ミスの外に

- 行列 A , 行列式 $|A|$, 逆行列 A^{-1} などの混同
- ベクトルとスカラーの混同 (ベクトル積 $a \times b$ はベクトルで，内積 $a \cdot b$ は実数です)
- 基本変形を等号 $=$ で結ぶ (変形の前後で行列は異なりますから，等号を使うのは不適切です)
- その他，用語の間違い

などです．これらは言葉の意味を正しく理解していれば防げるものです．今後も (数学に限らず) 新しいことを学ぶときには，そのものの意味を注意深く理解してほしいと思います．

(2/6)